


私は、この二五年間で、
数多くの尊^{とん}いいのちを失ってきました。
すべて、私の責任です。
理由もわかつていません。

それは、私が、人としてしてはいけないことを
してしまったからです。
そうせざるをえなかったとはいえ、
子どもたち自身の人生に、
私は足を踏み入れてしまいました。



一人ひとりに事情があり、黙って見ていることは、
教師としても大人としてもできませんでした。
しかし、許されることはありません。

それでも、この道を歩み続けて来られたのは、
かわった多くの子どもたちからの
「ありがとう」の言葉があったからです。
この本の最初に、すべての子どもたちへの
感謝の思いを綴ります。

A field of colorful poppies in various shades of red, yellow, and orange, set against a clear, bright blue sky. The flowers are in various stages of bloom, with some fully open and others as buds. The background is softly blurred, creating a sense of depth and a peaceful atmosphere.

すべての子どもたちに、
私がかかわったすべての子どもたちに。
生きていてくれて、ありがとう。



たくさんの笑顔とメールや電話で
優しい言葉を贈ってくれて、ありがとう。

私に生きる力をくれて、
ここからありがとう。



そして、今の状況を生きにくいと感じている若者や
大人のみなさんに伝えたい大事なことがあります。

相手を変えるのではなく、
まずは自分から変わらしましょう。





ぜひ、この本を読んで、
書かれていることを実行してみてください。

今日、優しさと勇気を手にすれば、
明日の自分が変わります。

きっと、明日は笑顔になります。

